令和５年度和歌山県統計グラフコンクール審査講評

令和５年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門の合計１８５点(２３７名)の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選４点、入選１０点、佳作１２合計２６点を入賞作品として決定しました。

第１部 小学校１・２年生の作品

第１部の作品からは、特選１点が入賞しました。

「じいじのももぼくがかぞえるからね」は、おじいちゃんの畑で収穫される桃について約一月半に渡り、種類別の収穫数や特徴などについて調べた作品です。桃の収穫数やアンケート調査したことについて、グラフを色分けして効果的に表現したり、挿絵や写真を用いたりするなどの工夫があり、自分の考えも詳しく書けました。

第２部 小学校３・４年生の作品

第２部の作品の中からは、特選１点、入選２点、佳作１点の合計４点が入賞しました。

「４年生のぼくと１年生の弟の歩行数調べ」は、登校時の自分と１年生の弟の歩数の違いについて調べたいと考えたことを契機に、長期間にわたり、調査した作品です。歩行数を月別・曜日別グラフにまとめ、タイトルや調査結果、東京都教育委員会の調査データを取り上げ考察したこともよく分かるように表現することができました。

「エコ生活してますか」は、「環境を守るための活動」について学習したことを契機に、路上調査を実施し、エコ生活実現への１０の提言としてまとめた作品です。調査の動機や路上調査から得たエコ意識や日常生活の様子についての結果を円グラフや棒グラフ、表を活用し、配色よく見やすく仕上げることができました。

「知っていますか？児童労働」は、新聞報道に記載された「児童労働」について調べたいと思ったことを契機に、児童労働の実態について、アンケート調査を実施し、調査したことや調べたことを丁寧にまとめた作品です。考えたことや結論を棒グラフ、円グラフなどを用いて効果的に表現し、問題提起をすることまでできています。

「赤ちゃんの成長～妹がうまれました～」は、一番身近な妹の体重と体温、一日の生活の様子を２種類のグラフを用いてまとめた作品です。調べて分かったことや感想、まとめから、妹の成長を見守る姉（作者）の優しさが伝わってきます。

第３部 小学校５・６年生の作品

第３部の作品の中から、入選２点、佳作２点の合計４点が入賞しました。

「なぜニンジン？～給食編～」は、学校給食の材料にニンジンが多く使われていることに疑問を持ったことから、その理由について調べまとめた作品です。ニンジンの栄養成分や収穫量、平均価格を３種類のグラフを活用し、自分の考えをまとめられています。

「Ｄｏ ｙｏｕ Ｋｎｏｗ ＷＡＫＡＹＡＭＡ？」は、空港で外国からの旅行者に、滞在期間等についてインタビューし、アンケート調査した結果をまとめた作品です。英語で作成したアンケート調査の結果を３種類のグラフ、表を使って、分かりやすく丁寧に表現し、和歌山県のアピールに関する提案としてまとめられています。

「株式会社　大発見」は、ニュースから得た情報に興味を持ち、株式会社について調べた作品です。「エコライフ～世界農業遺産と江戸時代のくらしから考える～」は、世界農業遺産に認定された「にし阿波の傾斜地農耕システム」と江戸時代のくらしを比較しエコライフについてまとめた作品です。両作品ともに自分の疑問や興味関心について調べたことを挿絵、グラフを用いてまとめることができました。

第４部 中学生の作品

第４部の作品から、特選１点、入選４点、佳作５点の合計１０点が入賞しました。

「反抗期学生と家族の会話」は、反抗期と呼ばれる時期の中学生の家族との向き合い方をテーマに、家族との過ごし方や会話などの項目を設定し、調査したことをまとめた作品です。会話時間や会話内容などの各項目について、その大小や増減、変化の方向性などが分かるよう詳細にグラフ化されており、自分の考えをまとめることができました。

「食料問題を解決できるかも！？代替肉」は、書物の記事から興味を持った「代替肉」という今注目されている食生活をテーマに、文献をもとに調べたこと簡潔に分かりやすくまとめた作品です。代替肉の認知度や食べた人の割合などについて、折れ線グラフ・棒グラフ・帯グラフなどに表し、自分の考えについてもまとめられています。

「見直すべき？あなたの敬語と言葉遣い」は、日常の敬語と言葉遣いについて収集したデータを根拠に、各調査項目に対する結論と考察をまとめた作品です。多種のグラフを効果的に活用し、グラフから分析したことを項目ごとに的確にまとめています。

「地震に備える」は、南海トラフ地震に関して、日本で発生した地震回数や想定される被害者数、過去データから地震の起こる曜日や時間帯について分析したことを数種のグラフを有効に活用しまとめた作品です。考察として地震に対する備えや危機感を訴えることができました。

「おにぎり白書」は、着眼点が興味深く、日常の食生活に密着したものをテーマについて、アンケート調査をもとに分かりやすくまとめられた作品です。グラフや地図を活用し、日本の食文化の魅力を世界に伝えたいというアピールにまとめることができました。

「日本の女性は忙しい」、「花を飾りませんか？」、「動物愛護の実態」、「和歌山の梅事情」、「テレビばなれ」は、身近な社会問題など興味関心が高い事柄について文献などから得たデータをもとにグラフを有効に活用しバランスよく表現された作品です。調査から導き出した結論や考察もまとめることができました。

第５部 高校生の作品　　応募作品なし

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部から、特選１点、入選２点、佳作４点の計７点が入賞しました。

「これからは転職が当たり前！？よい転職をするために！」は、転職をテーマにしたドラマの内容を契機として、現状や課題について明瞭にまとめた作品です。転職するために必要なことについて、多種の項目を設定し、収集したデータ適切に処理しています。

また、グラフを効果的に活用し、分析したことを考察や方策としてまとめることができました。

「理系女って本当に少ないの？」は、県が企画された「理工系の仕事の魅力を学ぶツアー」に参加したことを契機に、自らの疑問を解決しようと調査を始めまとめた作品です。研究者数の推移や好きな科目などの項目について、男女別比較ができるようにグラフを適切に活用し、自分の考えをまとめることができました。

「男子プロテニス界　ＢＩＧ４と錦織圭の戦績」は、自分の興味関心の高いテニスプレイヤーの戦績を設定した多くの項目に対し収集したデータを適切に処理しグラフにまとめた作品です。通算勝敗数と勝率、獲得したタイトル、対戦成績などをパソコン機能を活かし、多種多様なグラフを用いて分かりやすくまとめることができました。

「タイパのいい勉強方法」、「台風の規則性について」、「人と犬が幸せに暮らすために」、「地球温暖化って本当に進行しているの？」は、日常の家庭生活の改善点や時事的な観点や学校生活の中の関心の高い事柄をテーマにした作品です。どの作品も収集したデータを多様なグラフ、絵、吹き出しなどを有効に用いて分析しています。調査から導き出した結論や自分の考えも書かれています。

以上、部門ごとの講評とさせていただきます。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題など、自分が興味・関心を持ったことや課題意識を持ったことについて、調査や観察などを行い、集めたデータを分類、集計、グラフ化し、表現することや分析することの楽しさを体験し、作品作りに励んでください。

次回も多数のご応募を期待しています。